取締役会議長メッセージ

“カシオらしさ”を発揮しながら、企業価値を高めていくこと、それがガバナンスの役割であり、使命。

代表取締役 会長
樫尾 和宏

カシオが考えるガバナンスの本質とは

2023年からカシオは新体制へ移行し、会社は今変革の時を迎えています。そして、増田社長以下の執行現場は、会社の変革と新生カシオへの移行に全力で取り組んでいます。私たち取締役会としては、単なる助言やアドバイスではなく、実現に向けた具体的な行動が重要です。そのため、常に執行側によりそっていくという姿勢を大切にしています。一般的にガバナンスとは、取締役会が執行機能を監督することを示しますが、カシオにおけるガバナンスとは、執行現場によりそい、執行力の強化に貢献することと考えています。私たちの役割は、新しい時代に適応するために、会社の変革をともに進め、新生カシオへと生まれ変わらせることです。

カシオの現状と未来への挑戦

現在の事業の停滞には、外部要因と内部要因が存在しています。外部要因としては、急激な環境変化が大きな影響を与えていると考えられます。内部要因としては、時代の変化へのレジリエンスの低下が挙げられます。具体的には、達成したい夢である中長期の事業ビジョンが十分に描けていないことや、当該期計画達成のための分業制(縦割り)がもつ弊害、そしてカシオの強みである「チーム力と挑戦力」を十分に発揮できていないことがあります。

これからカシオはこれらの課題に正面から取り組み、新生カシオへと生まれ変わります。当社には、新生カシオへと生まれ変われるだけの強みが豊富にあります。それは、人々が日常的に使っている商品を提供していること、ユーザーとともに作り上げた唯一無二の市場をもっていること、ユーザーと直接つながっていること、そして人にまつわる技術を多数保有しているというポテンシャルです。

しかし、現在のカシオはこのポテンシャルを十分に活用できていません。言い換えれば、当社の最大の強みである「カシオらしさ」が発揮できていない状況であると考えます。

「カシオらしさ」とは何か。それは「カシオらしい夢の実現に向かって、チーム力と挑戦力を発揮すること」です。この「カシオらしさ」を取り戻すことで、私たちは必ず新生カシオへと生まれ変わることができると確信しています。

「カシオらしさ」を全社で取り戻すためのパーパスプロジェクト

カシオを変革させ、新生カシオへと生まれ変わらせるため、カシオの強みを再整理して、私たちが目指す方向性を明確化する目的で「パーパスプロジェクト」を立ち上げました。パーパスプロジェクトを通じて、2,000名を超えるカシオの未来を想う数多くの社員や役員、そしてパートナーの皆様と危機感や夢を共有しました。カシオらしい夢(目指すべ

きイノベーション）とは何か、カシオらしい風土（強みと弱みや大切にする価値観）とは何かについて議論を重ねました。

その結果、「驚きを身近にする力で、ひとりひとりに今日を超える歓びを。」というパーパスと、このパーパスを実現するために必要な価値観・信条としてバリューズを策定しました。パーパスが定まった今、全社一体となって新たなイノベーションの創出に挑戦する風土を取り戻したいと考えています。

カシオらしいイノベーションの再生

私たちは、再びイノベーションカンパニーへと生まれ変わり、カシオらしい風土を取り戻します。カシオらしいイノベーションとは、これまで世の中になかった新しいライフスタイル（グローバルニッチ市場）を創造することです。それぞれの事業において、成し遂げたい夢である中長期ビジョンを掲げ、新たなライフスタイルの提案と深耕を行っていきます。その実現のために、独自技術の進化と応用を積極的に進めていくことが不可欠です。これが、私たちカシオが追求する事業のあり方であり、目指すべきイノベーションの形です。

さらに、カシオらしい風土とは、中長期のビジョン達成に向かって、チーム力と挑戦力を持続的に発揮することです。私たちは夢に向かって挑戦し続けることこそがカシオらしさであると考えます。

社会に夢と喜びを与えるイノベーションを生み出す、それこそがカシオのパーパス

取締役会議長として、日々、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様と対話を重ねていますが、カシオに対する最大の期待は、やはり世の中にない新しい市場を創造することだと感じています。その期待に応えるためにも短期の業績はもとより長期的な価値の向上、すなわちイノベーション創出につながる活動に重点を置いて取り組んでいきたいと考えています。

当社の社会的な使命は、経営理念「創造 貢献」に基づき、新たな価値を創造し、社会に変革をもたらすことです。また、社会課題への貢献の観点から言えば、SDGsにおいては社会への悪影響を最小限に抑えることが求められますが、当社の存在価値やミッションは、プラスの影響、つまり夢や希望、喜びを提供することにあります。

その原点に立ち返り、執行責任者であるCEOとの連携のもと必ずイノベーションカンパニーへ生まれ変わらせる所存です。株主・投資家の皆様も、どうか長期的な視点でカシオに期待し、見守っていただけますよう、心よりお願い申し上げます。

経営と現場社員との直接対話を継続

経営陣は現場の社員との直接対話を重視し、定期的に交流会を開催しています。

樫尾和宏会長は、社内各部門やプロジェクト、国内外のグループ拠点を訪問し、若手・中堅社員との対話を進めています。これは2020年に社員からの提案を受けて始まり、コロナ禍においてもオンライン形式で継続され、様々な意見交換が行われてきました。この活動を通じて、経営理念や当社の歴史、現況、今後の方針への理解を深めてもらうだけでなく、社員が日頃感じている会社への疑問点などを話し合うことで、会社と社員の相互理解を深め、社員一人ひとりが自発的に活動できるよう後押ししています。

パーパスが策定されたこれからは、パーパスの実践活動へとつなげていきます。「驚きを身近にする力で、ひとりひとりに今日を超える歓びを。」パーパスを軸に新たなライフスタイルの提案と深耕を実行し続けていくために、現場の社員一人ひとりの挑戦力と共創力を後押ししていきます。